

第20回太宰治賞決定！

志賀泉さん

「指の音楽」

三鷹市と筑摩書房の共同主催で復活後6回目となる太宰治賞の最終選考会が、5月14日にみたか井心亭で開かれ、選考委員の高井有「さん、柴田翔さん、加藤典洋さん、小川洋子さんにより、92編の応募作品の中から第20回太宰治賞が志賀泉さん（写真）の「指の音楽」に決まりました。

今回の受賞作「指の音楽」は、美術系大学映像学部三年生である主人公の子どもの頃、故郷の町で亡くなったうあの少女の死をめぐるミステリーで、選考委員からは、「例年の作品と比べても受賞作として十分な作品。いろいろな読者に働きかける力を持った小説。リアリティがあり、今の若者の姿を良く描いているところが、一番の美筆」と評価がありました。

受賞した志賀さんは、福島県出身の43歳。二松学舎大学を卒業し、現在、出版社を経営、小平市に在住。



受賞の知らせを受け「本当に私ですか？とその時は実感が無く、疑わしかった」と語っていました。

授賞式は、6月17日（木）午後6時から東京会館（千代田区）で行われ、正賞の記念品と副賞100万円が贈られます。また、受賞者は、6月19日（土）に三鷹市芸術文化センターで行われる「太宰治の没後50年を機に、筑摩書房に呼びかけ、平成10年に共同主催の形で復活したもの。」

なお、受賞作および最終候補作のすべてと選考委員の選評などを収録した「太宰治賞2004」は、筑摩書房か



予選展示中の店内。左から森店長とタイムレスマシンさん

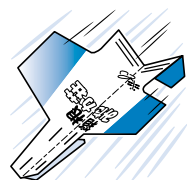
ポスター・看板コンテストに独創的な54作品

決戦投票14日から

地域の人たちが交流できる広場として平成14年10月にオープンしたコミュニティカフェ「雑多楽や」（下連雀3-33-13）で、「ロートレックを捜せ」と銘打ったコンテストが開催されています。19世紀末のパリの酒場ムーラン・ルージュのポスターを描いたロートレックにあやかり、同店のポスター・看板を募集したところ、市内を中心に小学生から89歳までの独創的な54作品が集まりました。これまでに4組に分けて予選展示が行われ、訪れた客やホームページ（http://www.lo.pia.or.jp/zatta）に約700人が投票。6月5日の予選終了イベントで各

組の上位3作品、計12点が発表され、14日（月）25日（金）に店内で「決戦展示」されます。開店1周年を記念して企画されたこのコンテストは、店長の森明司さんが、同店でイベントを開催したアーティストのタイムレスマシンさんの協力を得て発案したもの。「点数もさることながら、これほど質の高いユニークな作品が集まるとは思っていなかった。地域の潜在的パワーのすごさに驚いた」と森さん。素材も布や板、卵のケースなどさまざま。立体的な作品や観る人が参加して仕上げていく作品などもあることから、決戦は同店での投票のみとなります。問い合わせは同店 ☎42-8777へ。

三鷹のロートレックを捜せ



箱根みたか荘に紙飛行機

好評！

箱根みたか荘に置いてある紙飛行機が宿泊されたみなさんに好評です。この紙飛行機は、井口在住の桑原宏支さん（写真）が作ったもの。

桑原さんは、「倶楽部原っぱ」という紙飛行機愛好者の集まりに所属し、休日は近くの公園で初心者にアドバイスをしたりしているそうですが、日ごろからよく利用する箱根みたか荘に、「子どもたちが楽しんでもくれたら」という思いから紙飛行機を置くようになったそうです。

紙飛行機というと、新聞などを折って飛ばすものを

想像しますが、この紙飛行機は、約20秒も飛びつづけるという本格的なもの。

箱根みたか荘では、置いたらすぐになくなってしまふほどの人気だそうです。新たな名物になっています。

箱根みたか荘について詳しくは、市民課 ☎内線2323へ。8月分の抽選申し込みは6月7日（月）（消印有効）まで。

◆箱根みたか荘関連情報

箱根みたか荘では、宿泊された方に、次のようなサービスを行っています。

◇記念日（誕生日、結婚記念日や米寿のお祝いなど）の方に「思い出」をプレゼ



ご自慢の紙飛行機を手にする桑原さん

ント。◇みたか荘自慢の源泉をお分けしています。1人4歳まで。ペットボトルなどの容器をお持ちください。

◆箱根イベント情報

◇湖水祭 7月31日（土）
◇箱根大文字焼き 8月16日（月）

図書館の本棚から 180

ビジネス支援

事業を起して新しい仕事をやってみたい、そんな人たちのヒントや手がかりになるような本を今回は紹介します。

◆「二十一世紀残る経営、消える経営」 大久保寛司著 中央公論新社 明快、率直に著者の視点で語られる企業の経営理念が収められています。時代の変化を恐れず的確に状況を認識し、何よりも顧客（お客様）第一主義の理念を浸透させることが重要だと提言しています。また、「顧客に価値を届ける」という言葉の意味を理解し実践できる企業が21世紀を乗り越えていく手がかりになる、と著者は結んでいます。



で語られる企業の経営理念が収められています。時代の変化を恐れず的確に状況を認識し、何よりも顧客（お客様）第一主義の理念を浸透させることが重要だと提言しています。また、「顧客に価値を届ける」という言葉の意味を理解し実践できる企業が21世紀を乗り越えていく手がかりになる、と著者は結んでいます。

◆「スロービジネスのすすめ 7か条」 NHK出版

スロービジネスのすすめ 7社の起業家が自分らしく生き生きと働くことができる環境を目標し、長期的な視野にたつてそれを実践してきた体験を綴っています。膨れ上がった企業組織の中では、短時間で効率よく結果を出すことを要求されますが、そういった時にこそ無駄や不要と思われてしまったことが、未来へ繋がる利益になるのではないかと述べています。ここで使われている「スロー」は、市場一辺倒の企業の発想をも転換させるキーワードになっていくかもしれません。また、各章に登場する7社の企業家の顔写真と手の写真が印象的です。

◆「ビジネスを変えた7人の知恵者 ジェフリー・A・クレイムス著 角川書店

7社の起業家が自分らしく生き生きと働くことができる環境を目標し、長期的な視野にたつてそれを実践してきた体験を綴っています。膨れ上がった企業組織の中では、短時間で効率よく結果を出すことを要求されますが、そういった時にこそ無駄や不要と思われてしまったことが、未来へ繋がる利益になるのではないかと述べています。ここで使われている「スロー」は、市場一辺倒の企業の発想をも転換させるキーワードになっていくかもしれません。また、各章に登場する7社の企業家の顔写真と手の写真が印象的です。

◆「個ビジネスをわくわく発想法」 富樫康明著 日本地域社会研究所

ひとりのひとりが何気なく日常生活を過ごす中で、ふとしたきっかけで生まれたアイデアやひらめきを、埋もれさせてしまっている経験を持つ人は少なくないと思います。目に見えないそういった知識や経験を独自の財産として、実際に世の中に発信する方法や、個性を生かした個ビジネスというものを実践し、軌道にのせた体験談などが載っています。思わず、自分の日常生活を顧みることになるかもしれません。ここで紹介した本のお問い合わせは、図書館へ。

↓三鷹図書館（本館） ☎43-9151

◆「ビジネスを変えた7人の知恵者 ジェフリー・A・クレイムス著 角川書店

7社の起業家が自分らしく生き生きと働くことができる環境を目標し、長期的な視野にたつてそれを実践してきた体験を綴っています。膨れ上がった企業組織の中では、短時間で効率よく結果を出すことを要求されますが、そういった時にこそ無駄や不要と思われてしまったことが、未来へ繋がる利益になるのではないかと述べています。ここで使われている「スロー」は、市場一辺倒の企業の発想をも転換させるキーワードになっていくかもしれません。また、各章に登場する7社の企業家の顔写真と手の写真が印象的です。